

社 報



仕事を通じて成長する

中国研修生

中国から3人の研修生が当社にやってきました。

これから3年間、日本で型枠の技術を学び、身につけて中国での仕事に生かすことができるように勉強に来るわけです。

日本語も十分ではなく、カタコトしか喋ることはできませんが、差別することなく、共にモノを作る仲間として歓迎してあげてください。

住まいは、赤川4丁目に借り上げ社宅を用意しましたのでそこで寝起きます。ご指導をお願いします。



私達が職場で過ごす時間は、1日24時間のうち、睡眠時間などを差し引くと、ほとんどの時間を職場で過ごしていることとなります。人生の大半を職場で過ごすわけですが、この時間がお金を稼ぐだけの時間であってはならないと思います。

一時、労働は人間にとって、生活の糧を得るための嫌な時間という具合に言われた時代もありましたが、現代社会では、自分の力を発揮できる場初であり、能力を伸ばす場所であるとされています。

欧米では歴史的に奴隷制度があったことから、労働は、嫌なもの・働くことは苦痛である、とした風潮があったように思います。

それに比べて、日本では勤労は、真面目・堅実・勤勉などのイメージで良く働く人は優秀であるとされてきました。日本が敗戦後、高度成長を成し遂げた背景には、日本人の勤労意欲の高さが挙げられています。

人生の大半を仕事場で過ごす訳ですから、仕事を苦痛とするならば、それこそ人生そのものが苦痛となってしまうです。

仕事は決して楽しくできるものではありませんが、仕事を通じて私達は

多くのことを学びます。

言い換えれば、仕事が私達を成長させてくれると言えるわけです。

30年40年と毎日、仕事に積極的に取り組み努力する人と、毎日の時間だけが気にかかる人とは、人生の後半に大きな差がつくのは当然のことでしょう。

ですから、私達は常に仕事に教えられ、日々努力することによって成長し、前向きな姿勢を持ち続けねばなりません。

そこには、人間社会の基本ルールから、技術的に難解な事柄など、様々な問題が毎日発生しています。ほとんどの問題は解決されますが、大きなトラブルに発展することもあるでしょう。

そうなれば、私達はさらに自身を成長させて新たなトラブルを解決できる能力を持つ必要が生まれてきます。

仕事は前向きな人間だけを、大きく成長させていきます。自分には無理と思う仕事でも、いつのまにか簡単にできるようになっていた、と経験もあると思います。

仕事は、積極的に！前向きに！それが人の成長につながります。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

3年連続で毎月欠かさず自主パトロールを実施しました

清水建設の現場では、毎月1回以上(稼働日数が10日以上の場合1回)、専門工事業者は店社が自主的に、安全活動として自主パトロールを行わねばなりません。

この度当社は、3年間連続して1回の休みもなく、この自主パトロールの実施を達成しました。

その努力が評価されて、清水建設建築部から表彰状をいただきました。ありがとうございます。

これも皆さんの普段からの活動が評価されたわけですが、これからも、安全活動については停滞することなく、地道な活動を継続していきたいと思えます。ご苦労様でした。

2007年 安全成績

現場災害 H19.1.1-H19.5.10	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 1
合計	----- 2
交通災害 H19.1.1-H19.5.10	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0